

日本経済思想史学会賞について 募集要項

趣旨：日本経済思想史研究で優れた著書・論文を表彰する。

- 1、日本経済思想史学会賞と称する。
- 2、学会賞は以下の種類について表彰するものとする（若干名）。
奨励賞
- 3、奨励賞の受賞はそれぞれ一人当たり1回とする。
- 4、受賞対象は以下の通りとする。
 - ① 著書（単著のみ）は ISBN 番号が振られている出版物に限る。外国語著書も該当する。
 - ② 論文については、単著論文とする。編書（論文集）掲載の一部も認める。（共著は認めない）なお、論文は、ISSN 番号が振られている逐次刊行物、または ISBN 番号が振られている編書等などへ収録されているものとする。
 - ③ 会誌『日本経済思想史研究』に掲載した論文は（推薦がなくても）自動的に審査対象とする。
 - ④ 史料集（資料集）は対象としない。
- 5、対象論文は公表した年月日から換算して2年以内とする。
- 6、受賞資格者は、以下のとおりである。
 - ①応募段階で会員であること。
 - ②応募段階で専任教員（任期付教員は除く）として着任していないもの。
- 7、受賞については、自薦・他薦を問わない。推薦者は会員とする。受賞推薦は1会員で1件とする。
- 8、該当論文、著書は12月31日までに推薦文と共に提出する。なお、審査のために該当著書、論文は寄贈していただく。抜刷・コピーなどでも構わない。
- 9、審査委員会は幹事会の下、会員の中から選任して組織される（5～6人を想定）。
- 10、審査委員会の結果を受け、幹事会で決定する。総会で報告し、総会当日の懇親会の場で授与式を行う。
- 11、審査結果として「該当なし」もある。
- 12、審査結果の経緯は公表しない。
- 13、受賞は賞状を授与するものとし、賞金はなしとする。

14、学会賞募集要項（内規）は、幹事会の承認を得て随時変更するが、変更内容は総会で公表する。大きな変更については、随時ホームページに掲載する。

15、送付先は以下の通りとする。

195-8550 東京都町田市広袴 1-1-1 国士舘大学 21 世紀アジア学部
竹村英二研究室内 日本経済思想史学会
「学会賞推薦書在中」と記入のこと

16、問い合わせは代表幹事落合功まで問い合わせのこと。

メールアドレスは以下の通り。

t23346@aoyamagakuin.jp